

希望ヶ丘



『幸せに気付く生徒(保護者・職員・地域)』

日ごろより本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

本年度も、心地よい春の日差しのもと、令和3年度の入学式・始業式を迎えることができました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1年生の入学式は在校生の参列はなし、2、3年生の始業式はグラウンドで行いました。入学式では新入生である1年生の緊張した中にも希望に満ちた凛とした姿、始業式では進級した2・3年生の決意に満ちた輝く瞳やさわやかで頼もしい姿は、それぞれとても立派で、我々も誇らしげな気持ちになりました。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中、約1年が過ぎました。予断を許さぬ状況の下、多くの制約の中で生活を送り続けています。学校における教育活動もまだまだ通常どおりとは言えない状況ですが、少しずつやれることも増えています。“先が見えない”ではなく、“先を見る”気概をもち、万全の注意を払って教育活動に邁進していく所存です。何かとご不便をおかけすることと思いますが、今年も1年間、生徒512名+教職員+保護者+地域の皆様で手をとり合い、重点目標「幸せに気付く生徒」の育成に向けて、温かく、たくましく、しなやかに進んでいきたいと思えます。

保護者・地域の皆様には、これまでの本校の教育活動へのご協力に感謝するとともに、本年度も引き続きお力添えを賜りたく存じます。1年間よろしく願い申し上げます。

入学式での学校長の話(全文)を、ご紹介します。



式辞

希望ヶ丘がやさしい日差しに包まれています。今年もまた、希望に満ちた新入生を迎える季節となりました。このよき日に、PTA会長 藤田卓志 様、並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、令和3年度 吉原第二中学校 入学式を挙げていきますこと、心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

175人の新入生の皆さんは、本日から、吉原第二中学校の生徒として、第一歩を踏み出しました。これから始まる中学校生活はわずか三年間ではありますが、身体だけではなく、頭の中や心の中も飛躍的に成長する時期です。そして、自分自身の生き方を考える、とても大切な三年間になります。

その三年間に、保護者、地域の方、学校の教員が望んでいることは、皆さんが安心して安全な中学校生活を送り、高校など、次の進路に向けて進んで、幸せになってほしいということです。キーワードは「幸せ」です。

そこで、皆さんがこれから充実した中学校生活を送り、175人が幸せに生きていくために、私から皆さんに、お願いしたいことが三つあります。

1 皆さんの中にも、ダメな人間はいません。自分を大切にしてほしい。今、生きていることに感謝しましょう。生きているだけで十分に誰かの役に立っています。みんなには必ずよいところがある。生まれてきたからには、必ず人の役に立つこと、役割がある。その基本中の基本を忘れないでください。

2 人は、誰もが誰かの役に立つことができます。そして、幸せな人生を過ごした人に、自分だけが幸せになろうとした人はいません。人のために、自分以外の人を喜ばせようとしたり、役に立とうとしたり、幸せにしようとしたりして生きた結果が、幸せな人生となるのだということを学ぶ三年間にしてほしいです。

3 しかし、努力もしないで幸せにはなかなか出来ません。幸せになるためには、夢や目標を持ち、目の前に現れる課題に向き合い、自分のよいところを磨いていくことです。夢や目標がまだ見つからないという人も、目の前のことや興味のあることに一生懸命に取り組み、自分のよさに気づきます。そのよさを磨いていくと、必ず、夢や目標が見つかります。

これからの三年間、この三つを忘れずに生活をしていけば、小学校6年間、中学校3年間、合計9年間で付けたい力「夢や目標を持ち、たくましく生きる力」が皆さんの体と心の中に生まれ、幸せな人生を切り開く力となります。

ただ、たった一つだけ注意があります。大切なあなたの命を、時間を、あなたと同じように大切な存在である175人の仲間が嫌がることに使うことはやめましょう。仲間と助け合うことや力を磨き合うことに使しましょう。人は、入学式等の節目や人との出会いで変わることができます。若い皆さんを応援します。よい出会いを。

さて、保護者の皆様、本日はお子様の御入学、誠にありがとうございます。大切なお子様を三年間お預かりします。本校職員一同、一致団結して、175人のお子様を安心・安全に、「幸せに」学校生活を送ることができるよう、また皆様の御期待に添いますよう努力し、一人ひとりを心豊かな人間に育てていきます。お子様のことでお困りの点や御心配なことがありましたら、担任等に御相談ください。ここにはお子様の成長のために力を尽くす先生がいます。

学校から保護者への三つのお願いがあります。

1 お子さんの長所も短所もまるごと認めてください。子供に自己肯定感があれば、子供は一人で自分の人生を切り開いていくことができます。ですから、お子さんに肯定的な言葉を掛けてください。

2 もう中学生です。お子さんが自分の頭で考え、判断し、自分の口で表現ができる場面を増やしてください。175人の子供たちも保護者の皆さんも、私たち学校職員も誰一人、完璧な人間はいません。ときには人間関係のトラブルが起きます。それをどうやって解決していくか、自分の頭で考えさせていきましょう。

3 御自分のお子さんが、もしも万が一、他のお子さんの心や体を傷つけるようなことがあれば、そのようなことをしないように、御家庭でも指導してください。子育ての一番の責任者は保護者です。なお、スマートフォン、SNS、インターネット関連のトラブルに関する責任は、本人と保護者にあることをこの場で確認させてください。学校では、お子さんが困らないように指導します。もし、お子さんが困っているならば、放っておくことはしませんが、そうなる前に、御家庭でルールを作り、互いにトラブルに巻き込まれないようにしましょう。

少し、耳の痛いことを申し上げましたが、学校と御家庭が連携・協力することが、問題解決の近道であり、教育の効果があがると考えております。なにとぞ、御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、本日は地域の方をお招きできませんでしたが、地域の皆様のお力も欠かせません。AIだとか新型コロナウイルスだとか地球温暖化だとか、時代は変わっていきますが、時代は変わっても、人は、ぬくもりの中で育ちます。

それでは、これから三年間のあたたかい御支援と御協力をお願い申し上げます。校長の式辞といたします。本日は誠にありがとうございます。

令和3年4月7日

富士市立吉原第二中学校 校長 村松 敦視

〜〜 就学支援（特別支援学級や特別支援学校中学部への入級）について 〜

特別支援学級（本校での通称名は8組）について知りたい場合や入級を希望される場合は、早めに学級担任にご相談ください。特別支援学級への入級については、保護者との話し合いや校内及び富士市の就学支援委員会の判断をもとに、入級がふさわしいかどうかが決まるため、十分な時間を必要とすることをご了解ください。また、年度途中の入級は原則的にありませんので、前年度に判断して次年度から入級となります。

さらに、特別支援学校中学部への入級についても同様です。この場合、富士市だけでなく静岡県の就学支援委員会の判断も必要になるため、次年度の入級を希望する場合、前年度の9月初旬までに入級に関する書類を富士市教育委員会に提出することになっています。そのため、夏休み後半までに保護者との話し合いや校内就学支援委員会の判断が必要になるため、早めに担任にご相談ください。

【4月の予定】

7日（水）入学式、新任式、始業式
8日（木）PTA理事会
9日（金）給食開始
身体測定
12日（月）専門委員会
13日（火）内科検診3年、部活動見学
14日（水）1年生知能検査、避難訓練
15日（木）歯科検診、部活動見学
校納金振替日
16日（金）生徒総会、生徒会任命式
1年仮入部I
PTA総会資料配布（紙面決議）

20日（火）JRCの日、1年仮入部II
内科検診1年
21日（水）JRCの日、1年入部届配布
学級懇談会15:30~
22日（木）二中タイム（国語I）
聴力検査3年、希望面談I
23日（金）希望面談II、聴力検査1年
27日（火）尿検査1次
28日（水）尿検査1次忘れ
29日（木）昭和の日
30日（金）3年進路・行事説明会
1年入部届

私の大切にしている言葉（姿勢）「いろいろあるけど、**今やるべきことに集中しよう!**」

前後際断（ぜんごさいだん）

過去にとらわれず、未来を憂うことなく今を生きよという禅の教え。前際・過去、後際・未来、今に最善を尽くすべし!

文責 教頭 荒井邦夫
TEL 51-1115
FAX 51-1116